

ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。



発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

http://www.shisha.or.jp/

社協のBlogもチェックしてネ!

陸前高田市復興支援ボランティア活動報告

七月五日(金)と六日

(土)、時折雨が降るなか、

陸前高田市復興支援ボランティアの活動が行われました。二日間で延べ三十名の方に参加していただきました。



側溝を開けると泥がぎっしり。

工事中の釜石道を軽快に走り、予定時刻よりも早く、陸前高田市復興サポートステーションに到着しました。サポートステーションには、京都、神戸、神奈川など、他県から災害ボランティアバスで参加された方々が大勢いらっしゃいました。

重い泥を掻き出して。

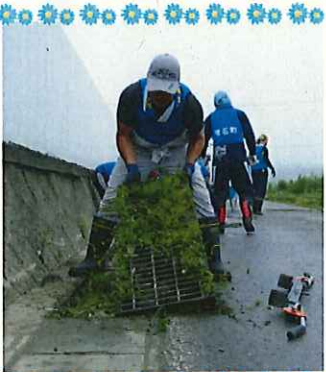


雫石チームは、陸前高田市内のホテルや体育館があった付近の側溝の泥出しを二日間行いました。作業をした場所は、今後、かさ上げする所だそうですが、未だ、手つかずの所もあり、復興ステーションの職員からは、「側溝の中から、遺骨、写真、名前の分かる品々を見つけ出すことが目的です。」と説明されました。復興サポートステーションでも、人手が足りないということ、社協の車にスコップ、バケツ、一輪車などの道具をつめ

込み、地図を見ながら作業現場に向かいました。

前日からの雨などで、泥出しや泥運び、仕分けが大変でしたがボランティアの皆さんが、より多く被災者の方の遺品、思い出の品を探し出そうと小雨の中、頑張つて下さいました。現場では、災害ボランティア経験者の方が多く参加してくださったので、作業分担をして手際よく進めることができました。

復興支援ボランティア活動に参加して下さいました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



側溝の蓋には、こんなに草が...

大切な物が出てくるかも...



陸前高田市街地は、被災前はたくさんの方々の生活の息吹が感じられたはず。それが、今は何もなく、草が腰のあたりまで伸びていて重機だけが目立ちました。徐々に復旧、復興してはきているものの、まだまだ被災地に寄り添った活動が必要だと感じます。また、陸前高田駅の跡地には、下から二メートルぐらいの所から鋭く斜めに折れた木が残っていたのが印象的でした。

ちよと小話...

作業現場に雫石町葛根田出身で陸前高田市で被災し、奥様と仮設住宅で生活なさっている男性が、新聞で雫石町のボランティアが来ることを知り、わざわざ訪ねてきて下さいました。



ふれあいサロン誕生!

今年度、ボランティア活動センターでは、ふれあいサロンの増設に力を入れてまいりました。六月に入り、板橋行政区に「ふれあいサロン・菜の花・イタバシ」、小松行政区に「ふれあいサロン・なつめの会」が誕生しました。



菜の花・イタバシ

どちらのサロンのスタッフさんも、まず、無理なくお茶会からということでスタートしました。

最初は、緊張した様子の皆さんでしたが、お茶会が進むにつれて、徐々に話の花も咲き始め、笑顔もみられました。参加した方々からは、「普段は、家にいるとあまり人と話す機会がなくて...このようなサロンができてよかった」、「皆の顔を見ることができた」という声がかれました。サロンに参加してみたいなあとお考えの方は、栗石町社会福祉協議会までお問合せ下さい。



なつめの会

☎692-2230

出張!お茶のお手前

六月二日(日)、にこトピア栗石で「この指とまれ」の有志の方々による本格的なお茶会が行われました。ボランティアの方々もお着物姿で参加です。



利用者さんに「作法は気にしないでご自由にお飲み下さい」と声を掛け、お話をしたり、お菓子



を食べる手伝いをしたりと活動しました。利用者さんからは、「これ、お抹茶なの?」、「お変わりして飲んだよ」、「こんな経験はじめてだ」などの声が聞かれました。

ボランティアの方の中には、昔語り部の方がいて栗石の昔話「野菊二度咲く」を栗石弁で語っていらつしやいました。ボランティアの方々も施設の職員さんも、「お茶会は、初めての試みでしたが、皆さんに喜んでいただいたのでよかった」とおっしゃっていました。

岩手ボランティア育成会

長澤基金が贈呈されました。

六月二十三日(日)、岩手県内で活動する福祉ボランティア活動を行う団体に助成金を給付する「長澤基金」の贈呈式が行われました。対象となったのは、平成十六年より栗石町社会福祉協議会が企画、開催した「男の料理教室」を受講したメンバーで発足した「クラブ男厨会」です。



「クラブ男厨会」は、男性が地域にでる機会が減少していると言われていたなか、毎月一回「料理」という活動を通して、健康管理や技術の向上、会員同士の交流を深めています。また、「一人暮らし老人昼食会」でのお弁当作りや交流会事業への協力も行っています。

ひとり親家庭 あなたの子育てをサポートします!

栗石町総合福祉センター「子育てルーム」『ほけっこ』ご母子、父子家庭が安心して子育てができるよう無料保育サービスを行います。

- 対象年齢 0歳~12歳
- 利用時間 午前8時~午後8時
- 利用時間数 子ども1人につき、1ヶ月24時間以内(24時間を超過した場合自己負担。料金はお問合せ下さい)。
- 利用にあたって 事前に利用登録申請書を提出の上、要予約。

☎692-2230
(担当・三城)

ふれあいサロン

六月七日(金)、茶話サロンのきりせんしよ作りを取りしに伺いました。下町四公民館にお邪魔すると中から甘い良い香りが。毎年一回、さなぶり会としてきりせんしよを作っているそうです。「月一回、交流できて幸せ」とのお声が聞かれました。



編集後記

社協の外のアサガオとキユウリが、どんどん大きく成長しています。植物の成長にはとてもいい季節になりました。不安定な季節が続いています。皆さま、お体ご自愛ください。



(武田)